

市民参加型まちづくり1%システム（平成26年度3次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択 可否	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	継続	堀越子ども見守り隊	通学路等における児童の見守り活動	近年子どもが犠牲になる犯罪や不審者が増加していることから、地域が子どもたちに関心を寄せることが必要である。そこで、昨年度から行っている揃いのベストでの見守り活動に加え、堀越小の児童から募集した防犯・交通安全についての標語入りポスターを地域に貼付したり、ステッカーを貼った車での見守り活動を行う。	216,000	94.2	—	○	216,000	消耗品費（防犯ベスト、封筒、プリンターインク等）、印刷製本費（防犯ステッカー）、通信運搬費（切手）
2	継続	豊田小学校父母と教師の会	豊田小学校通学路排雪事業	近年豪雪が続き、行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪でずり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	317,000	90.0	—	○	317,000	消耗品費（誘導灯、安全ベスト、嵩上げ用コンパネ等）、食糧費（作業時飲み物）、燃料費（除雪燃料費）、印刷製本費（雪置き場用看板）、通信運搬費（定型外郵便）、保険料（団体総合生活保障、除雪機賠償責任）、使用料（軽自動車、除雪機）、その他経費（トランシーバ）
3	新規	弘前は珈琲の街です委員会	青年団リンク ホエイ「珈琲法要」弘前公演実施事業	「珈琲の街ひろさき」の歴史的根拠を知り、先人たちの偉業や苦難の歴史を広く市民に知ってもらうため、藩政時代に蝦夷地警備に赴いた弘前藩士が、コーヒーを薬用として飲んだという歴史が描かれた演劇「珈琲法要」を弘前市で上演する。	500,000	70.4	—	○	500,000	講師等謝礼（出演料、演出・舞台監督料等）、交通費（出演者、監督等）、消耗品費（コピー用紙、封筒、名札等）、印刷製本費（チラシ、チケット）、通信運搬費（切手）、レクリエーション保険、使用料（会場、音響設備）、その他経費（会場案内版設置）
4	新規	時敏地区青少年育成委員会	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業 「第1回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	今日の子もたちが失いつつある日本の伝統的文化と昔の遊びに親しむ機会を創出し、時敏地区内の子もたちと高齢者がふれあうことで世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して地域の子もたちの健全な成長を培うことに対する理解に繋げる。	371,000	82.7	—	○	371,000	講師等謝礼（演奏、指導、看護師等）、消耗品費（コピー用紙、プリンターインク、昔の遊び用具等）、印刷製本費（資料印刷）、通信運搬費（定型外郵便）、障害保険、使用料（三味線、担ぎ太鼓、トラック）、その他経費（子ども講師用図書券）
5	新規	ひろさきナラティブ.net	弘前市民による地域包括ケア実現のための研修会 みんなでつくる地域包括ケアの街～ひとりひとりの「生きる」を大事にしよう～	医療が必要な状態となっても地域でその人らしく暮らしていけるように、市民が積極的に関わっていけるような市民が主体となった地域包括ケアのまちづくりを実現させるため、在宅医療の講演・グループワークを開催し、在宅医療は生活を支援する目的で行われるものであることを市民に理解してもらう。	202,000	85.0	—	○	202,000	講師等謝礼（講演会講師）、消耗品費（マーカー、どこでもシート）、印刷製本費（チラシ、リーフレット、会議資料）、使用料（会場、音響、プロジェクター、スクリーン等）
6	継続	岩木山観光協会	岩木山南麓豪雪まつり	「雪と遊ぼう」をテーマに、豪雪を活かした冬の岩木山ならではの内容のイベントを実施し、雪を楽しみながら過ごす機会を提供する。岩木山麓の各団体が協働作業により事業を実施することで、地域の団結を深め、地域活性化への意識を向上させていくほか、それらを市民や観光客にPRし、冬場の岩木山の楽しみ方を伝えていく。	498,000	72.7	—	○	498,000	講師等謝礼（体験指導講師）、消耗品費（ペイント剤、案内用立て看板）、印刷製本費（チラシ、ポスター、会場用ポスター（防水加工））、損害保険（馬そり、総合レクリエーション）、使用料（1tトラック）、その他経費（馬そり運行、スノーモービル等）、
7	継続	津軽ひろさきマーチング委員会	ひろさきを絵手紙にして知ってもらおうワークショップ「こころを伝える ひろさき絵手紙展」	弘前の街の景観を保存し、弘前への愛着意識をより高めるために、弘前のさまざまな風景を描いたイラスト展示を行う。また、展示と同時に絵手紙教室を開催し、参加者に弘前の風景や特産品を描いてもらい、完成した絵手紙を全国に発信してもらうことで弘前をPRする。	309,000	79.1	—	○	309,000	講師等謝礼（絵手紙教室講師）、交通費（講師用）、消耗品費（絵の具、パレット、筆）、食糧費（講師用、作業時飲み物）、印刷製本費（ポスター、チラシ、案内用はがき）、通信運搬費（切手、通知用ハガキ）、使用料（会場）、その他経費（看板、のぼり等）
8	新規	津軽地域精神障がい者社会復帰支援連絡会	ともに生きる精神障がいの理解・普及・交流会 「松本ハウスがやってくる」～笑って学ぼう精神疾患～	精神障がいを克服し芸能活動に復帰したお笑いコンビ・松本ハウスの講演会を開催する。疾患を体験した当事者・ハウス加賀谷と彼を支えた相方・松本キックの体験談を聞くことで、精神障がいに対する誤解や偏見を解消し、疾患の正しい知識を真面目に、時には面白く、広く市民に知ってもらう。	305,000	81.3	—	○	305,000	講師等謝礼（学集会講師）、交通費（講師用）、消耗品費（コピー用紙、プリンターインク）、食糧費（講師用）、印刷製本費（ポスター、資料）、通信運搬費（通知用ハガキ）、その他経費（看板）
9	新規	弘前大学財政ゼミナール	農の魅力、子どもに発信！	近年の農業後継者不足の原因には、子どもたちの農業への興味・関心が薄れてきていることも考えられるため、かぶの栽培から食するまでの流れを紙芝居にし、紙芝居の発表会を開催する。また、紙芝居を絵本風に仕立てたものや、レシビ、子どもたちに向けたメッセージを盛り込んだ冊子を作成し、小学校や幼稚園・公民館に配付してより多くの子どもたちに農業の魅力をPRする。	89,000	66.3	—	○	89,000	消耗品費（クレパス、紙芝居セット）、印刷製本費（ハンドブック）、その他経費（送料、手数料）
10	新規	弘前ねぶた参加団体協議会	組ねぶた制作技能継承事業—組ねぶたを見直そう—	江戸時代から津軽地方で制作されてきた伝統的なねぶた灯籠の様式である組ねぶたを作る団体が年々減少してきていることから、組ねぶたを制作する技法の分析や整理を行い、マニュアルを作成しねぶたを作成する団体等に配布することで、組ねぶたの技術の伝承を図る。	500,000	92.7	—	○	500,000	講師等謝礼（シンポジウム講師）、交通費（講師用）、印刷製本費（マニュアル製本）、使用料（会場）
11	新規	昂町会	昂地区集会所協働開放事業	子どもの放課後の居場所づくりを目指して、これまで開放されていなかった集会所を月1回開放し、有効活用を図る。また、町会内外の子どもから大人まで、さらに市民先生やサポートしてくれる学生が集うことで、町会の魅力再発見や活性化へつなげる。	144,000	61.5	—	○	144,000	講師等謝礼（集会所開放時講師、報告会講師）、交通費（講師用）、消耗品費（開放時の教室に使用する原材料等）、印刷製本費（チラシ、レジュメ）、レクリエーション保険、使用料（会場）
12	継続	一般社団法人権利擁護あおい森ねっと	福祉と暮らしの相談会～多職種ネットワークによる相談会～	生活に問題を抱えた市民が、できるだけ1か所で問題を解決できるように、縦割りシステムを横断的につなぎ、多職種が連携することによって、いつでも市民の相談に応じることができる体制を構築するため、多職種による相談会を開催する。	178,000	89.2	—	○	178,000	講師等謝礼（相談員）、印刷製本費（チラシ、ポスター）、使用料（会場、機材等）

市民参加型まちづくり1%システム（平成26年度3次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択 可否	採択金額 (円)	採択項目・委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
13	新規	ういっちたいむ!!実行委員会	文化周知のためのイベント開催	「クールジャパン」と呼ばれ国際的に評価されている日本のアニメや漫画、ゲーム等の「サブカルチャー」を、ひとつの文化として広く市民に知ってもらうためのイベントを開催する。イベントを通じた異業種間の人々の交流や、第一線で活躍するクリエイターを招いたフォーラムにより、若い世代や地域で活動する個人のバフォーマーに活躍のチャンスを与え、弘前の活性化を図る。	487,000	68.1	—	○	487,000	講師等謝礼（フォーラム講師）、交通費（講師用）、消耗品費（プリンターインク、作品展示用アクリル板等）、印刷製本費（チラシ、ポスター）、使用料（会場）、その他経費（ポスターデザイン費）
14	新規	Hiramaru	「やりたいことをやらなくちゃ」プロジェクト	弘前の学生を中心とした若年層が感じている、弘前だから〇〇出来ない、どうせ変わらないという“気持ちのブレーキ”を取り払う事を目的に、東京から各業界の現場で活躍している講師を招き、講演会、座談会、ワークショップを行う。キャリア形成のきっかけと、県外からの視点で弘前の良さを発見・共有することを目指す。	477,000	63.1	—	○	477,000	講師等謝礼（講演会、座談会等講師）、交通費（講師等）、消耗品費（ワークショップ用事務用品等）、食糧費（講師用）
15	新規	特定非営利活動法人 弘前 スポネット	過疎地域スポーツ推進事業	少子化で部活動やスポーツ少年団もなく、運動をやる環境がない地域の子どものために、その地域へ出向いて定期的なスポーツ教室を開催する。スポーツ人口の増加に資することや、他校の生徒との交流を通じた子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上を図り、スポーツに親しむことを通して地域全体を巻き込んだ形での地域の活性化や、多世代間の交流促進を図る。	204,000	90.4	—	○	204,000	講師等謝礼（スポーツ指導料）、交通費（講師、スタッフ用）、消耗品費（マジック、コピー用紙、バレーボール等）、印刷製本費（チラシ）、イベント保険
16	新規	稔町町会	弘前シェークスピア上演会	稔町町会と町会内にある弘前学院大学が一緒になって音楽劇「ロミオとジュリエット」を上演することによって、地域と大学の間にある「壁」を取り払い、交流を図るとともに、一流のアーティストを中央から招くことで、地方と中央の交流を生み出し、文化振興への意識の向上を図る。	500,000	59.6	—	×	—	（審査委員会での主な意見） ・町会が、弘前市全域に文化振興を広めるといっておもしろい試みではあるが、町会住民や学生以外の鑑賞できる人数に限りがあり、受益者が一部の市民に限定される懸念がある。
合計				16事業（新規11事業 継続5事業）	5,297,000			採択：15事業 不採択：1事業	4,797,000	

採点方法

・採点は審査項目10項目について3段階評価とし、1人100点満点（10項目×10点）により評価を行う。

・採点の結果、出席委員の平均点が60点未満の場合または各審査項目ごとに算出した平均点が3点未満となる項目がある場合は、補助金を交付できないものと判定する。

審査項目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる